

令和 7 年 1 2 月
防衛省

滯空型UAV（シーガーディアン）の 鹿屋航空基地への配備について

- 防衛力整備計画において、広域での洋上監視能力を強化するため、滯空型無人機（UAV）を整備することとしており、令和6年11月にMQ-9B（シーガーディアン）を導入機種として選定しました。
- 配備先については、鹿屋航空基地・八戸航空基地とさせていただきたいと考えており、令和10年度から海上自衛隊による運用を開始させていただきたく、そのための準備を行うため、令和9年度から鹿屋航空基地において民間企業による飛行を開始したい考えです。
- なお、民間企業による飛行の機会に、航空自衛隊による対領空侵犯措置における滯空型無人機（UAV）の活用にかかる検証もあわせて行う予定です。